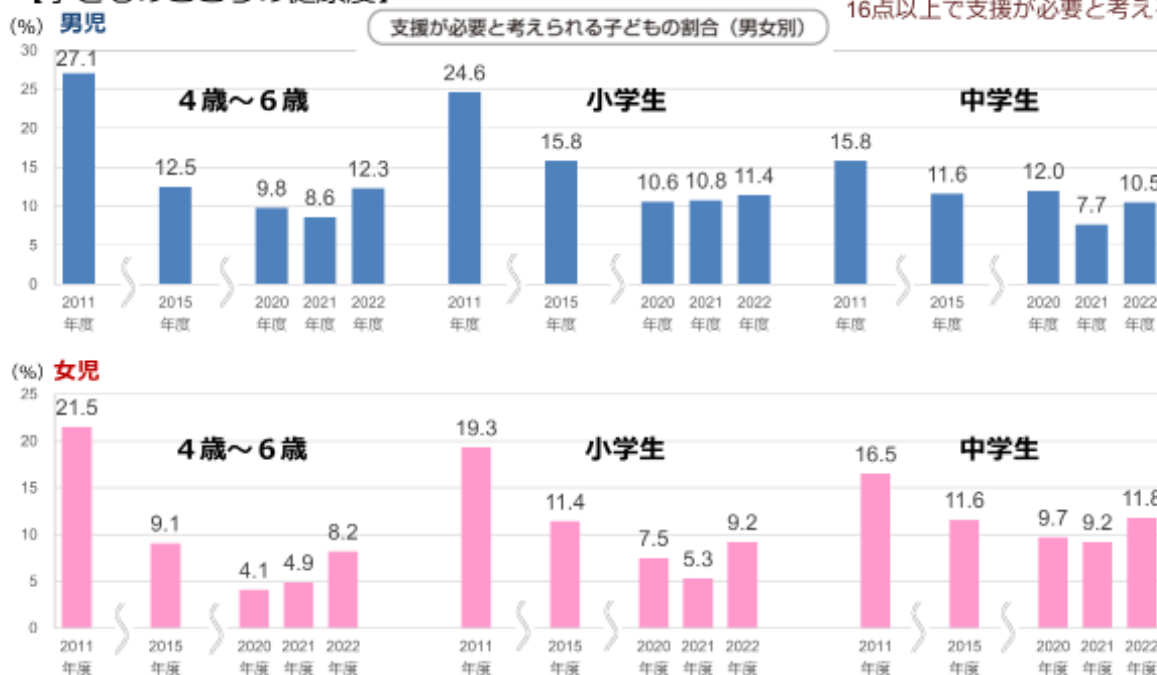


【子どものこころの健康度】

測定尺度: SDQ*

16点以上で支援が必要と考える



第52・53回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

子どものこころの健康度を評価する尺度としてSDQ¹を用いています。

2022年度調査では、2011年度調査と比較してSDQ高得点の割合は全ての区分で減少しましたが、直近3年間では中学生男子以外の全ての区分、性別で高くなりました。

日本の先行研究 (Matsuishi et al., 2008) におけるSDQ16点以上の割合の9.5%と比較すると、2021年度調査では男女とも全ての群で、ハイリスクの割合が同程度か低い傾向でした。

私たちの調査は震災後に生まれた、または居住した子どもも対象にしているため、最近のデータの多くは震災を経験していない子どもたちです。

1. SDQ (Strengths and Difficulties Questionnaire) : 子どもの情緒と行動に関する25項目 (例:「他人の気持ちをよく気遣う」、「落ち着きがなく、長い間じっとしてられない」等) について、それぞれ過去半年間にどれくらい当てはまるかを尋ねた質問で、4歳～15歳を対象に実施しています。この尺度によって専門的な支援が必要かどうかを判定しました。

本資料への収録日: 2015年3月31日

改訂日: 2025年3月31日